



ロータリーは機会の扉を開く

2020~2021 RI.2760地区

# 瀬戸ロータリークラブ会報

2021年2月3日発行 第2780号

## 本日のプログラム

2021年2月3日(水)

通算第2957回例会

本年度第24回

**WEB例会**

- ・開会点鐘
- ・会長挨拶
- ・出席状況
- ・幹事報告

## 前回例会 記録

2021年1月27日 第2956回例会

**WEB例会**

- ・出席率 WEB視聴 55名中 41名  
出席率 74.54%
- ・入会式 加藤 克己君

## 例会予定

2月10日~3月3日例会については  
本日開催の定例理事会で  
決定次第ご連絡いたします。

## 入会挨拶 加藤克己君

只今ご紹介に預かりました加藤克己でございます。このロータリーの中には同姓同名の加藤克己さんが先輩として早くから入会されておりますが、少し高齢となりましたが67歳です。

先程、寺田さんからご紹介がありましたように商売の方は瀬戸市の中品野町で陶磁器の卸売業を行っております。家族としては家内と長男、次男の男二人でございます。ここ数年二人は外にいましたが、次男が4年程前に突然、会社に戻ってくるということで、今は他の仕事もやっております。二つの仕事をやりながら家業を継いでおります。

その中で昨年度、寺田さんからご紹介がありましたように瀬戸の組合の新理事長としてご推薦を受けました。私も業界には長く携わってきましたが、なかなか狭い範囲での陶器業界での活動という事で、瀬戸の地域での活動というのはまだまだ未熟なところがございます。

これから皆さんの色々なご指導やご鞭撻を受けながらロータリーの中で頑張っていきたいと思っておりますのでひとつご支援の程よろしくお願ひしたいと思います。

## 加藤克己君(カネ三商店)の入会式



## 第2956回例会挨拶 会長 松村晋也君

皆さん、こんにちは。本日は瀬戸ロータリー第2956回の例会であります。

今、コロナの第3波によって緊急事態宣言が出ておりますので、本日もWEBの例会とさせていただきます。

さて昨年の1月15日に日本で初めてコロナの感染が確認されてから1年が過ぎたわけですが。その間に自粛警察とか相互監視というような言葉が聞かれました。この緊急事態宣言が出る前というのはまず自粛を要請されます。例えば会食、会合の自粛やイベントに参加してはいけないとか、全て自粛してください、ということから始まります。自粛警察とは自分は自粛をしているのに、イベントに出掛ける人や食事に出掛ける人に対して非難する、それから相互監視というのは例えば隣近所の東京から帰ってきた子どもに何という不届きな、というような事とかがあるわけです。一番やっていけないことは、コロナの医療現場で働く家族の人が幼稚園や保育園に行くのに感染するから来るな、というような誹謗中傷をすることで、絶対にあってははいけません。このような日本人が持つ悪い空気、いわゆる価値観と違う考え方を排除する或いは無視する、そのような意味合いであります。

この日本人の空気というのは今から50年程前に山本七平という方が日本人と空気論という本を出しております。当時第二次世界大戦の末期に沖縄戦の特攻に出

掛けた戦艦大和の生き残りの乗組員から色々聞いて空気論というもの考察したものです。当時何故こんな無謀で負けるとわかっている戦いに片道の燃料しか積まず出掛けることが許されたのか、と聞いた時に当時の軍部への配慮もあり、また日本の空気としてそれに反対することができなかった。まさに不可抗力的な拘束力があったのだと言っております。その前には個人の責任も免れるという事も言っております。これはある意味悪い空気に支配されてしまったのだらうと思うわけがあります。

考えてみますと我々ロータリーも気を付けなければいけないこの同調圧力というのが時々見られます。自分の考えに沿わない人を排除するとか無視するという事がみられるという事があってはいけないと思ひます。やはりロータリーというのは価値観の多様性のある人達の集まりで、それを認め合うというような度量の深さ或いは懐の深さが必要ではないかなと思ひます。我々ロータリーは本当に全員で良い雰囲気、良い空気を作っていかなければいけないと改めて感じたわけでありませう。

本日の会長挨拶は日本人と空気論という話をさせていただきました。